

## 14 スジホシムシモドキ

(スジホシムシ科)

兵庫県ランク:B

*Siphonosoma cumanense*

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

陸奥半島以南に分布する。体長400mm。砂泥質から砂質の干潟に巣穴を掘る。体色は褐色から白色で個体変異がある。体表にはつやがなく、前後方向に筋が入る。刺激すると全身がくびれ、自切することがあるが、これは近縁のスジホシムシ(その他無脊椎動物要調査種)では見られない特徴である。本種の巣穴にはカクレガニ類などの共生者が棲むことがあり、またスジホシムシモドキヤドリガイ(貝類Aランク)が付着することがある。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

### 県内分布

高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、淡路市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。播磨東部、西部及び淡路島北部、中部から確認されているが、出現する干潟は極めて限定的である上、瀬戸内海西部と比較すると個体数も多くない。特に播磨東部では危機的であると考えられる。

### 保護上の留意点

全国的にもかつては多産していたと言われるが、現在では減少傾向が著しい。また、複数の共生種が存在するため、本種の消滅は数種類の共生者にとっての生息環境消失に結び付く。干潟の埋め立てや水質汚染が本種の生息にとって脅威となるため、安定的で汚染の少ない砂泥質干潟の保全が必要。



【執筆者】 渡部哲也